

製品名: フィラミン A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21451

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:4000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:281kD;Observed MW:281kD

抗原情報

遺伝子名	FLNA
別名	FLNA;FLN;FLN1;Filamin-A;FLN-A;Actin-binding protein 280;ABP-280;Alpha-filamin;Endothelial actin-binding protein;Filamin-1;Non-muscle filamin
遺伝子 ID	2316.0
SwissProt ID	P21333
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

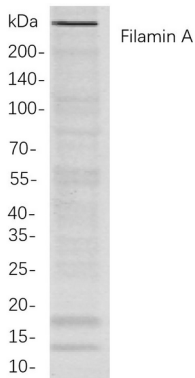
背景

細胞局在: 細胞質。フィラミン A (FLNA) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アクチンフィラメントを架橋し、アクチンフィラメントを膜糖タンパク質に結合させるアクチン結合タンパク質です。コードされるタンパク質は細胞骨格のリモデリングに関与し、細胞の形状や遊走に変化をもたらします。このタンパク質は、インテグリン、膜貫通受容体複合体、およびセカンドメッセンジャーと相互作用します。この遺伝子の欠陥は、脳室周囲結節性異所症 (PVNH1、PVNH4)、耳口蓋指症候群 (OPD1、OPD2)、前頭骨端線異形成症 (FMD)、メルニック・ニードルズ症候群 (MNS)、X連鎖性先天性特発性偽性腸閉塞症 (CIIPX) など、いくつかの症候群の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写変異体が見つかっている。[RefSeq 提供、2009年3月]

研究分野

-

画像データ



HepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (フィラミン A ウサギ mAb 使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。